

提 案 理 由 説 明

令和 3 年11月30日

本日ここに、第4回定例会を招集いたしましたところ、議員各位にはご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

1. 各種報告について

それでは、提案理由の説明に先立ち、市政に関する諸般の報告を申し上げます。

まず、長崎鼻の取り組みに関しまして、滞在型リゾートへの転換を進めてまいりました。そのことが、うれしいトリプル受賞につながりましたので、御報告をさせていただきます。

(地域づくり表彰審査会特別賞)

はじめに、国土交通省主催の令和3年度「地域づくり表彰審査会特別賞」の受賞でございます。

本市観光協会やNPO法人長崎鼻B・Kネットなど官民で構成する「パーフェクトビーチ・里海ヘルスツーリズム推進協議会」が受賞いたしました。

九州最大級の花公園「長崎鼻リゾートキャンプ場」を核として、海、温泉、健康食など、本市の恵まれた地域資源を融合させ、通年型・滞在型の観光を実現させた点が高く評価されたものでございます。

(第2回恋人の聖地地域活性化大賞)

2件目ですが、観光庁が後援するNPO法人地域活性化支援センター・恋人の聖地観光協会主催の「第2回恋人の聖地地域活性化大賞」における「観光庁長官賞」の受賞でございます。

「長崎鼻リゾートキャンプ場」を舞台として、各種施設整備による海辺の魅力向上やひまわりオイルなど、地域資源を活用したヘル

スツーリズムの取組みが地域活性化に大きく寄与したとして、高く評価されたものでございます。

(2021年度グッドデザイン賞)

3件目ですが、公益財団法人日本デザイン振興会主催の「2021年度グッドデザイン賞」の受賞でございます。

パーフェクトビーチ・里海ヘルスツーリズム推進協議会が運営する、長崎鼻ビーチリゾート内の「バーベキューテラス」が、若者への訴求力を備えたデザインクオリティに加え、地域の素晴らしい自然環境とともにある持続可能なライフスタイルの発信拠点として評価されたものでございます。

長崎鼻が、各方面から立て続けに高い評価をいただいたことは、本市固有の地域資源を最大限に活かし、他では体験することができない価値を創出できたことと、官民一体となった”おもてなし”の取組みが、認められたものと思っております。

令和2年度はコロナ禍で厳しい中、過去最高の約11万人の入込客数を記録し、今年も好調な状況が続いております。

今後においても、地域の特徴を生かした観光資源を磨き上げ、一年中、皆様にお越しいただけるような観光地として取組みを進めてまいります。

(昭和の町20周年記念式典)

次に、10月以降、全国的に新型コロナウイルス感染症が落ち着きをみせる中、本市におきましても徐々に復興に向けた取組みが始まりました。

10月30日開催の昭和の町の「夜台市」は、ハロウィンの仮装した子供連れの親子などで大変な賑わいを見せ、11月27日の開催でも盛況な状況でございました。

11月3日には、昭和の町誕生20周年記念式典を開催し、10年以上続けている「昭和の店」32店舗のほか、昭和の町の振興に寄与した

個人10人と2団体の功労者の皆さんを表彰させていただきました。

式典では、全国で活躍している日本総合研究所主席研究員の藻谷浩介氏による「昭和の町20周年～その先に～」と題して、特別講演を開催いたしました。

藻谷氏からは、「昭和の町は世界に通じる懐かしさ」があり、「千年後の東大寺」となりうるもので、町並みを残してもらいたいとのご意見をいただきました。

また、「豊後高田市は他市に比べて少子化が進行していない貴重な事例である」など、お褒めの言葉をいただいたところでございます。

昭和の町では、誕生20周年を祝う記念イベントを催しております。

12月11日、12日には、月光仮面を製作した宣弘社の80周年と昭和の町20周年のコラボ企画「あわせて100周年」を開催し、昭和仮面と月光仮面が商店街に登場いたします。

昭和の町は観光振興の核としてだけでなく、本市の元気の源として、企業誘致や移住促進などにも大きく影響を与えております。

市民の郷土愛の醸成など地域振興に大きな役割を果たしており、これからも昭和の町が元気であり続けられるように努力してまいります。

(株式会社エイチワン創業開始)

つづきまして、昨年、進出表明をいただいております、「東証1部上場」の株式会社エイチワンが、この度、新工場が完成し11月24日に竣工式が行われました。

12月からの創業を開始する予定となっております。

本市では、この他にも企業の設備投資が相次いでおり、コロナ禍で経済が低迷する中、地域経済の振興に大きく寄与していただいております。

(人口増施策について)

次に、人口増施策の状況でございますが、本市が行う「高校生までの医療費無料化」や「市内保育園の保育料・幼稚園授業料の無料化」、「保育園、幼稚園、小学校、中学校の給食費無料化」、「子育て誕生祝い金の拡充」など、全国トップレベルの「子育て支援」や「移住・定住対策」が着実に実を結んでおります。

これまでの取り組みにより、転入者が転出者を上回る社会増は、大分県内でトップの7年連続を達成することが出来ました。

本年9月、日銀大分支店が公表した「大分県における人口移動の特徴」を見ますと、本市は、県外からの転入者が多く、かつ、女性の転入超過がプラスになっていることが大きな特徴であります。

今後においても「地域の活力は人である」との信念のもと、「子育て支援」や「移住・定住対策」を充実させた人口増施策に努めてまいります。

(スポーツ振興)

次にスポーツの振興でございます。

11月5日に大分市で開催された、第69回県中学校駅伝競争大会において、高田中学校男子陸上部が、念願の初優勝を果たし、全国大会出場の快挙を成し遂げました。

コロナ過で練習も制限される中、全6区間のうち、3区、4区、5区が区間賞で県内の強豪校を振り切り、見事、優勝いたしました。

12月4日に佐賀市で行われる九州中学校駅伝大会や12月18日に滋賀県で行われる全国中学校駅伝大会に大分県代表として出場いたします。

また、10月9日に大分市で行われた県中学校新人空手道大会の個人形で高田中学校2年の近藤寧音さんが優勝いたしました。個人組手では1年の河野叶多さんが3位となり、二人揃って来年3月27日から29日に京都市で行われる全国大会に出場いたします。

九州や全国大会での活躍を、市民の皆様とともに応援したいと思います。

っております。

10月16・17日に大分市で開催された令和3年度大分県中学校新人柔道大会では、戴星学園柔道部女子が団体で初優勝するなど、素晴らしい成績を収めました。

更に10月30日に大分市で行われた令和3年度大分県高等学校新人柔道大会において、高田高校柔道部男子が23年ぶり6回目の団体優勝を果たしております。

スポーツの活躍は市の元気の源でもあります。更に高い目標をもって頑張っていたいただき、今後の活躍を期待しております。

(防犯カメラの寄贈について)

去る11月3日に豊後高田ライオンズクラブより、結成60周年記念事業として、市内主要6か所の交差点と市内小中学校5校に11台の防犯カメラを寄贈いただき、除幕式が行われました。

日本一住みやすい町、行ってみたい町のためにも防犯カメラを役立てていただきたいとの趣旨であり、本市の進める安心して暮らせる環境づくりに大いに役立つもので、非常にありがたく思っております。

(新型コロナウイルス感染症対策)

さて、新型コロナウイルス感染症の状況についてでございますが、第5波が落ち着きを見せ、全国的に感染者の減少がみられております。

本市におきましても、9月22日以降、感染者が確認されていない状況でございます。この場をおかりしまして、市民の皆様の感染予防に対するご協力に感謝を申し上げます。

現在、感染の流行は小康状態ではございますが、冬場の感染再拡大に備えて、大分県や関係機関との連携体制を充実させ、今後の対策に備えてまいります。

市民の皆様におかれましては、引き続き、三密の回避、不織布マ

マスクの着用、手洗い等の手指衛生、換気等の基本的な感染対策の徹底をお願い致します。

また、ワクチン接種の状況でございますが、11月26日現在、2回目の接種を済ませた方は、対象者の86.1%となり、希望する方へのワクチン接種は概ね完了している状況でございます。

なお、3回目の追加接種につきましては、11月12日に全額国費による接種関係予算の専決処分を行い、12月から医療従事者へ、来年2月頃から、2回目の接種終了後、概ね8か月を経過する方へと順次、進めていく予定でございます。

今後のポストコロナ対策につきましては、コロナ禍の影響により経済活動が大きな打撃を受けている現状を踏まえ、国や県の経済活性化対策を中心として、コロナ前の時点に1日でも早く立ち戻れるよう、観光振興施策を柱に、交流人口の拡大等を進めてまいりたいと考えております。

2. 提出議案等の説明

それでは、本定例会に提案いたしました議案等について、その大要をご説明申し上げます。

(予算関係の議案)

第57号議案の令和3年度一般会計補正予算（第6号）につきましては、3億3,549万5,000円の増額で、補正後の予算総額は、160億5,855万5,000円となります。

その主な内容につきまして、ご説明申し上げます。

まず、総務費では、令和2年度決算剰余金の基金法定積立てや、過年度国県支出金精算償還金を計上しております。

民生費では、保育所の利用児童数が増加していることから、社会福祉法人が行う小規模保育施設の新設に対する助成経費や不足する保育所運営費の増額などを計上しております。

農林水産業費では、白ネギの生産規模拡大に向けた支援経費や白ネギ等の価格安定事業負担金などを計上しております。

商工費では、真玉海岸に新たな観光拠点施設を整備するための設計費、

教育費では、県大会で優勝した高田中学校の駅伝などが全国・九州中学校体育大会に出場するための補助経費を計上しております。

このほか、各費目に人事異動等に伴う人件費の補正を計上しております。

また、県内全域による消防通信指令業務共同運用に向け、おおい消防指令センターシステム整備業務委託料につきましては、債務負担行為予算を計上しております。

第58号議案の令和3年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）につきましては、令和2年度決算剰余金の基金法定積立てや過年度分の保険給付費等交付金に係る精算償還金などを計上しており、3,945万5,000円の増額で、補正後の予算総額は、30億1,979万9,000円となります。

第59号議案の令和3年度介護保険特別会計補正予算（第1号）につきましては、令和2年度決算剰余金の基金法定積立てや過年度国県支出金精算償還金を計上しており、1,228万8,000円の増額で、補正後の予算総額は、28億3,986万3,000円となります。

第60号議案の令和3年度下水道事業会計補正予算（第1号）につきましては、人事異動等による人件費の補正を計上しております。

第5号報告の令和3年度一般会計補正予算（第5号）につきましては、地方自治法第179条第1項の規定に基づき、新型コロナウイルスワクチン3回目の追加接種に必要なコールセンター業務委託や接種業務委託について、予算の専決処分をしましたので、同条第3項の規定により報告し、承認を求めるものでございます。

(予算関係以外の議案)

次に、予算以外の議案についてでございます。各議案の末尾に提案理由を付しておりますので、主なものについてのみ、ご説明申し上げます。

第61号議案の豊後高田市と大分市との消防指令業務に関する事務の委託に関する規約につきましては、豊後高田市と大分市との間で消防指令業務に関する事務の管理及び執行の委託に関する規約を定めることについて、大分市と協議を行うものでございます。

第62号議案の公の施設の指定管理者の指定につきましては、長崎鼻リゾートキャンプ場の設置の目的を効果的に達成するため、当該公の施設の管理を行わせる指定管理者の指定について、議決を求めるものでございます。

第65号議案の豊後高田市スパランド真玉条例の一部改正につきましては、スパランド真玉の利用者の利便性及び施設の稼働率の向上を図るため、所要の規定の整備を行うものでございます。

以上で、本定例会に提出いたしました議案等について説明を終わりますが、何とぞ慎重審議の上、ご協賛賜りますようお願い申し上げます。